

令和9年度 プロジェクト工学科出願の注意事項

1. 希望する分野系統の選択について

プロジェクト工学科（A方式1型、A方式2型）に出願する場合は、「ものづくり分野系統」「まちづくり分野系統」に希望順位（第1・2又は第1希望のみ）をつけて、以下のとおり出願時に選択することができます。

2. Web出願時の選択について

課程名	全日制 ▼
学校名	京都市立京都工学院高校 ▼
学科名	プロジェクト工学科 ▼ プロジェクト工学科 フロンティア理数科
方式名	① A方式1型 第1希望：「ものづくり分野系統」 第2希望：「まちづくり分野系統」 ▼ ① A方式1型 第1希望：「ものづくり分野系統」 第2希望：「まちづくり分野系統」 ② A方式1型 第1希望：「まちづくり分野系統」 第2希望：「ものづくり分野系統」 ③ A方式1型 第1希望：「ものづくり分野系統」 第2希望：なし ④ A方式1型 第1希望：「まちづくり分野系統」 第2希望：なし ⑤ A方式2型 第1希望：「ものづくり分野系統」 第2希望：「まちづくり分野系統」 ⑥ A方式2型 第1希望：「まちづくり分野系統」 第2希望：「ものづくり分野系統」 ⑦ A方式2型 第1希望：「ものづくり分野系統」 第2希望：なし ⑧ A方式2型 第1希望：「まちづくり分野系統」 第2希望：なし

Web出願画面のイメージ（実際の出願画面とは異なることがあります）

- ・ 選抜方式・型別に、Web出願システム上で自身の希望する分野系統を選択します。
- ・ A方式1型とA方式2型それぞれに希望する組合せのパターンが4つあります。志望する方式・型、第1希望、第2希望の間違いないように選択してください。
- ・ 入学時には分野系統が決定しており入学後は変更できないため、次ページの【参考】を参照するなどし、ものづくり及びまちづくり分野系統の特色を理解したうえで選択してください。
- ・ 本校での入学後の取組に強い意欲があるとともに、いずれの分野系統にも興味・関心がある場合には、第2希望まで選択することを強く勧めます。
- ・ 検査内容等のその他詳細については、前期選抜独自枠要項（p.65, 66）を確認してください。

次ページにつづく

【参考】

※分野系統は入学時には決定しています	ものづくり分野系統	まちづくり分野系統
概要	ものづくり分野の専門的な学びを生かし、就職・進学を目指す分野系統	まちづくり分野の専門的な学びを生かし、就職・進学を目指す分野系統
人数・クラス	108 名（36 名×3 クラス）	72 名（36 名×2 クラス）
領域・専攻	●メカトロニクス領域	●都市デザイン領域
※領域・専攻は入学後に選択します	・機械加工専攻	橋や道路などの社会インフラを計画・整備・管理し、安全・安心で快適なまちをつくるための知識と技術を身につける領域です。ドローン等を活用した測量、VR 技術を活用した景観設計、自然環境の保全、防災について実践的に学びます。
	金属加工や機械システムを理解し、ものづくりに必要な知識と技術を身につける専攻です。機械製品の製作、機械設計製図、原動機の仕組みなどを学びます。	
	・ロボット専攻	●建築デザイン領域
	産業用ロボットや制御技術を理解し、自動化に必要な知識と技術を身につける専攻です。ロボットアームの原理・構造・制御、自動工作機械などを学びます。	
	●エレクトロニクス領域	
	・電気専攻	
	電気の基礎から発電・送電・配電まで、必要な知識と技術を身につける専攻です。発電の仕組み、電動機や変圧器の原理と構造などを実習で学びます。	住宅や公共建築物の計画・構造を学び、安全で快適な建物をつくるための知識と技術を身につける領域です。設計製図やデザイン、CAD、3D モデリングを通して、建築に必要な実践力を身につけます。
	・電子情報専攻	
	コンピュータや電子回路、通信技術について理解し、必要な知識と技術を身につける専攻です。コンピュータによる回路設計、プログラミング、AI・IoTなども学びます。	

- ・ 詳細は学校案内パンフレット（https://khs.city.kyoto.lg.jp/assets/docs/kou_pa_.pdf）を確認してください。

次ページにつづく

3. 判定について

各検査項目の得点をもとに、総合的に判断し、出願時に選択した希望する分野系統に基づき次の「判定①」、「判定②」の順で選抜を行い、合格者を決定します。

判定①：各分野系統ごとに第1希望者のみを対象に総得点順で、定員まで合格者を決定する。

判定②：第1希望者判定後、定員に達していない分野系統のみ、上記①で合格範囲外の者の中から、第2希望に当該分野系統を記載している者を対象に、総得点順で定員まで合格者を決定する。

例) A方式1型に

第1希望：ものづくり分野系統 第2希望：まちづくり分野系統

で出願した場合

判定①：第1希望を「ものづくり分野系統」とした受検生を対象に判定します。総得点順で定員内に入れば「ものづくり分野系統」で合格となります。

判定②：「まちづくり分野系統」が第1希望とした受検生で定員に達しなかった場合は、第2希望に「まちづくり分野系統」を希望した受検生を対象に判定します。判定①で合格範囲外であっても、総得点順で定員内に入れば「まちづくり分野系統」で合格となります。

なお、プロジェクト工学科の募集定員180名のうち、方式・型ごとの、各分野系統の定員は以下の通りです。

	ものづくり分野系統	まちづくり分野系統
A方式1型	97名	65名
A方式2型	11名	7名

4. 分野系統の決定について

合格発表時には、分野系統は決定しています。合格発表後、分野系統を変更することはできません。

以上